

健康サポート薬局に係る研修【研修会A】
「健康サポートのための多職種連携研修会」
開催・受講者募集のご案内

一般社団法人岩手県薬剤師会

下記研修会を開催いたしますので、受講を希望される方は、下記のURLのフォームより、お申込みください。

記

(1) 研修会名 : **健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】**

(主催：岩手県薬剤師会、共催：日本薬剤師会)

健康サポート薬局研修会番号：健A-2024-03-025

(2) 開催日時 : 令和6年8月4日(日) 12:00~17:00

(3) 場 所 : 岩手県薬剤師会館研修室 (盛岡市馬場町3-12)

(4) 定 員 : 50名

(5) 受講料 : 7,000円。但し、岩手県薬剤師会会員は5,000円。

(6) 内 容 : 別添次第のとおり

(7) 申込方法 : 下記のURLのフォームより、申込みください。
なお、受講の可否については、メールで通知
いたします。



<https://forms.gle/dxZ7aeXb8QVdtpT56>

(8) 申込期限 : 令和6年7月16日(火)※必着

(9) 問合せ先 : 岩手県薬剤師会事務局 電話 019-622-2467

(10) その他 : 日本薬剤師研修センターの研修単位の交付はありません。

健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】

■ 受講対象者について（以下の①または②に該当する方）

① 健康サポート薬局の届出を目的とした薬局に勤務する薬剤師

- ・ 健康サポート薬局として地域住民の健康の保持増進に貢献する意欲のある薬剤師を対象とします。研修の修了要件には薬剤師として薬局での5年の実務経験が必要であることから、薬局で5年以上の実務経験を有する方を優先的に受け付けます。
- ・ 「健康サポート薬局の研修修了証」の有効期間は6年間です。更新を希望する場合は、有効期限内に【研修の再受講】と【更新申請手続き】が必要となります。「健康サポート薬局研修」修了者で、「健康サポート薬局研修の研修修了証」の有効期限が2026年8月3日以前の方で、更新を希望される場合は、本研修を受講するようにしてください。

② 地域連携薬局の申請を目的とした薬局に勤務する薬剤師

地域連携薬局の基準のひとつに「当該薬局に常勤として勤務している薬剤師の半数以上が、地域包括ケアシステムに関する研修を修了した者であること」とあり、「健康サポート薬局に係る研修を修了した者として修了証の交付を受けた常勤の薬剤師が、基準を満たす者として取り扱う」とされていることから、地域連携薬局の申請を行おうとする薬局に勤務する薬剤師を対象とします。

なお、今回は、令和6年度中に申請を行う予定の薬局に勤務する薬剤師を優先的に受け付けます。

■ 受講証明書について

研修会を受講し所定のレポートを提出された方に、当該研修会の「受講証明書」を発行いたします（受講証明書の有効期限は3年間です）。

有効期限内に「健康サポート薬局研修修了証」の発行申請を行わず有効期限を経過したものは無効となります（その場合、「研修修了証の発行申請を行う」ためには改めての研修受講が必要です）。

■ 健康サポート薬局研修修了証の更新手続きについて

「健康サポート薬局の研修修了証」の更新に当たっては、「研修修了証の有効期限の2年前以降に、薬局が所在する都道府県の薬剤師会が開催する研修会Aを受講すること」「研修修了証の有効期限の2ヵ月前までに、更新申請を完了（手数料振込・郵送必着）すること」の両方を満たす必要があります。

また申請書の郵送にかかる日数も考慮する必要がありますので、「有効期限2年前」以降の初回の研修会Aを受講するようにしてください。

■ 参加者の皆様へのお願い

- ① 事前申込された方のみ受講いただけます（事前申込のない場合は、受講できません）。
- ② 本研修を受講する前に、「研修サポート薬局研修e-ラーニング」を受講することが推奨されています。
- ③ 当日は、来場前に検温等の体調チェックを実施いただき、問題がない場合に限り受講してください（発熱や咳等の風邪様症状がある場合は、来場を控えてください）。

健康サポートのための多職種連携研修会（予定）

日時：令和6年8月4日（日）12:00～17:00

会場：岩手県薬剤師会館

開会挨拶（12:00～12:05）

岩手県薬剤師会 常務理事 村井 利昭

1. 健康サポート薬局の基本理念

(1)健康サポート薬局の基本理念（12:05～12:30【25分】）

日本薬剤師会 会長 山本 信夫、副会長 田尻 泰典（DVD講義）

(2)健康サポート薬局の理念：地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

「私たちが目指す健康サポート薬局の姿」（12:30～12:50【20分】）

中田薬局小佐野店（釜石市） 中田 義仁 氏

(3)グループ討議：薬局が地域の資源とどのように繋がるか（12:50～13:10【20分】）

岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野 教授 高橋 寛 氏

休憩（13:10～13:20【10分】）

2. 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

(1)岩手県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待

（13:20～13:50【30分】）

岩手県保健福祉部 健康国保課 健康予防担当課長 阿部 功博 氏

(2)他職種等の取り組みについて～健康サポート薬局との連携を探る～

1) 栄養ケアステーションの活動と健康サポート薬局への期待（仮題）

（13:50～14:10【20分】）

公益社団法人 岩手県栄養士会 理事・管理栄養士 吉田 知子 氏

2) 成年後見制度への取組みと健康サポート薬局への期待（14:10～14:30【20分】）

岩手県保健福祉部 地域福祉課 主任主査 佐藤 公行 氏

(3)岩手県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について（14:30～14:40【10分】）

岩手県薬剤師会 専務理事 熊谷 明知

休憩（14:40～14:50【10分】）

3. 演習（14:50～16:15【85分】）

地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための
各職種・機関との連携による対応等に関する演習

演習進行：岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野 教授 高橋 寛 氏

(1)ケーススタディ (2)発表 (3)演習のまとめ（レポート作成）

休憩（16:15～16:25【10分】）

4. まとめ（16:25～16:55【30分】）「私たちの目指す健康サポート薬局の姿」

岩手医科大学薬学部臨床薬学講座地域医療薬学分野 教授 高橋 寛 氏

(1)グループ討議（健康をサポートする薬局として今私たちに何ができるか）

(2)発表 (3)まとめ（レポート作成） (4)結び（クロージング）

閉会挨拶（16:55～17:00）

岩手県薬剤師会 副会長 八巻 貴信